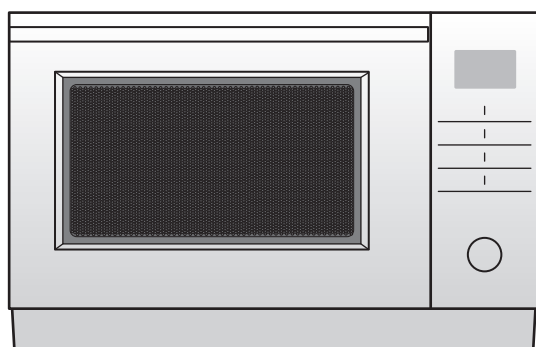


- 業務用として使用しないでください。
- 他の用途でのご使用はしないでください。
思わぬ事故の原因になります。

家庭用

オーブンレンジ YRK-F240TSV



もくじ

●安全上のご注意	①～③
●設置	④
●加熱のしくみ	④
●使える容器・使えない容器	⑤
●各部の名称	⑥
●いろいろな機能	⑦～⑧
●から焼きをする	⑧
●準備	⑨
●時短お急ぎ加熱をする	⑨
●メニュー	⑨～⑱

- ・飲み物
- ・解凍(解凍、半解凍)
- ・自動調理(ご飯あたため、牛乳、お酒、葉菜ゆで、根菜ゆで、お弁当あたため、トースト、鶏のから揚げ、ハンバーグ、冷凍ピザ、クッキー、フライあたため、グラタン、きんぴらごぼう、肉じゃが)
- ・スチーム(茶碗蒸し、スポンジケーキ)

●レンジを上手に使うポイント	⑱
●レンジ加熱の目安	⑳
●手動調理 レンジを使う	㉑
●手動調理 グリルを使う	㉑
●手動調理 オープンを使う(予熱あり)	㉒
●手動調理 オープンを使う(予熱なし・発酵)	㉒
●お手入れ	㉓
●故障かな?と思ったら	㉔～㉕
●仕様	㉕
●アフターサービスについて	㉖
●保証書	裏表紙

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- ・このたびは、弊社オーブンレンジをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。
- ・ご使用の前に、この取扱説明書を必ずよくお読みになり正しく安全にお使いください。
- ・お読みになった後は、大切に保管してください。

最新情報はオリジナルブランドページ

YAMAZEN BOOK を
チェック!



随時情報を更新中!

安全上のご注意 **必ずお守りください**

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、安全に関する内容を記載しています。内容をよく理解して記載事項をお守りください。

	危険	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性が高いもの
	警告	誤った取り扱いをしたときに死亡や重傷に結びつく可能性のあるもの
	注意	誤った取り扱いをしたときに傷害または物的損害に結びつくもの

図記号の説明	
	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な内容は図記号の中や文章で示します。
	指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な内容は図記号の中や文章で示します。
	注意を示します。 具体的な内容は図記号の中や文章で示します。

危険



穴やすき間に金属物を入れない。自分で絶対に分解・修理・改造をしない
感電・発火のおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

警告



ドアやドアのシールに損傷がある場合は使用しない
電波漏れのおそれがあります。修理はお買い上げの販売店にご相談ください。

■設置する時



使用前に梱包材は全て取り除く

変形・発火・火災の原因になります。また、取り除いた梱包材は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。ポリ袋や箱に入り窒息する原因になります。

設置の際は、アース線を確実に取り付ける

故障や漏電のときに感電する原因になります。
※アース取り付けはP4を参照してください。



不安定な場所、燃えやすいものの近くや、本体周囲に熱がこもる環境で使用しない

新聞紙など本体の給排気口をふさぐようなものの上や、じゅうたん・畳・ビニールシート・樹脂などの上では使用しないでください。火災・やけどの原因になります。

吸気口や排気口をふさいだり、布やカバーをかけて使用しない

発火や故障の原因になります。

水のかかる所や湿気の多い所、また火気の近くでは使用しない

感電や漏電の原因になります。

■電源プラグ・電源コードなどは

電源プラグの刃、刃の取付面やコンセントにホコリが付いているときは乾いた布でふき取る
火災の原因になります。



電源は交流100Vで定格15A以上のコンセントを単独で使う

交流100V以外で使ったり、コンセントを他器具と併用すると火災・感電の原因になります。

電源プラグは、根元まで確実に差し込む

感電・ショート・発火の原因になります。



電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。

使用中に電源プラグを抜き差ししない

火災や感電、故障の原因になります。



濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電やけがの原因になります。

警告

■電源プラグ・電源コードなどは

電源プラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜く
感電やショートして発火の原因になります。



異常時は、運転を停止して電源プラグを抜く

異常のまま運転を続けると火災・感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店にご相談ください。

【異常・故障例】

- ・電源コードやプラグが異常に熱くなる。・使用中に異常な音やにおいがする。・自動的に電源が切れないことがある。
- ・スパーク(火花)または煙が出ることがある。・ドアに著しいガタつきや変形がある。・触れると電気を感じる。

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く

ホコリがたまり発煙、発火の原因になります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて本体が冷めてから行う

感電やけが、やけどの原因になります。



庫内に付着した油や食品カス等は、こまめに掃除する

火花が飛び、発火や発煙の原因になります。食品カス等がたまると発火の原因になります。



ふたのある容器は赤外線センサー調理で使用しない

食品の温度が正しく検知できずに過加熱になるので必ずふたを外します。

おしぼりやタオルの温めや衣類の乾燥など調理目的以外の使用はしない

過熱や異常動作による発火、やけどの原因になります。

100g未満の食品は自動調理で加熱しない

過加熱となり食品が発火する原因になります。

食品や飲料を加熱しすぎない

食品が発煙・発火したり、飲料は突然沸騰して、やけどの原因になります。少量の加熱時や油脂の多い食品・液体、イモなどの根菜類の加熱には注意してください。

食品以外は加熱しない

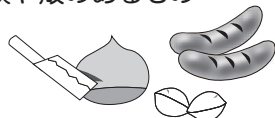
衣類、布類、レンジ加熱用湯たんぽ、哺乳瓶消毒容器、玩具などは加熱しないでください。

子供だけで使ったり、幼児の手の届く所で使わない

感電やけが、やけどの原因になります。

■レンジ加熱時の破裂を防ぐために注意する

膜や殻のあるもの



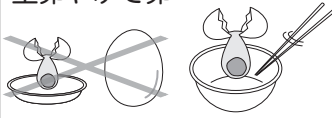
破裂してけが、やけどの原因になります。切れ目や割れ目を入れてください。

ふたのある容器



破裂してけが、やけどの原因になります。ふたを外してください。

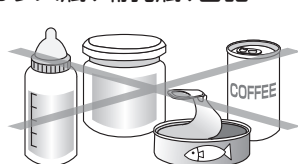
生卵やゆで卵



破裂してけが、やけどの原因になります。ほぐしてから加熱してください。おでんの卵も加熱しないでください。

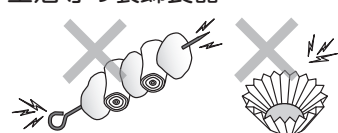


ガラス瓶、哺乳瓶、缶詰



容器が割れてけが、やけどの原因になります。耐熱容器に入れ替えてください。

アルミ箔、金属製食器、金箔等の装飾食器



火花が出て発煙、発火の原因になります。

袋入りの食品



破裂してけが、やけどの原因になります。袋から取り出して加熱してください。また、**脱酸素剤**などは、必ず取り出してください。発煙・発火するおそれがあります。

⚠ 注意



禁止

ドアにぶらさがったりして無理な力をかけたり、物をはさんだまま使用しない
電磁波漏れによる障害が起きることがあります。

可燃性スプレーを使ったり、燃えやすいものを近くに置かない

引火してやけどや火災の原因になります。

本体の上に物を置かない

熱で焦げたり変形するおそれがあります。

加熱台に衝撃を加えたり、熱い状態で水をかけたりしない

破損の原因になります。

食品が燃え出したときは、ドアを開けない
酸素が入り、勢いよく燃えます。

【次の処置をしてください】

1. ドアを閉めたまま、取消ボタンを押す。
2. 電源プラグを抜く。
3. 燃えやすいものを本体から遠ざけ、鎮火するのを待つ。

■鎮火しない場合は、水や消火器で消火してください。

■そのまま使用せずに、必ずお買い上げの販売店に点検をご依頼ください。

庫内が、から(食品なし)のまま作動させない

異常高温になり、やけどや発火、故障の原因になります。
(P8のから焼き・予熱を除く)



必ず守る

レンジ加熱したラップを外すときは、
ゆっくり外す

蒸気が一気に出て、やけどの原因になります。



水ぬれ禁止

水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

本体が転倒、落下したときは外部に損傷がなくとも使用しない

感電や電磁波漏れのおそれがありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。

■オーブン・グリル加熱のとき



必ず守る

食品の出し入れは、ミトンを使う

やけどの原因になります。また、破れたり濡れたミトンは使わないでください。

お手入れは、本体や庫内が冷めてから行う

やけどの原因になります。

煙やにおいに敏感なペットなどは、別の部屋に移し、換気扇を使用する



禁止

加熱中や加熱後しばらくは高温のため
庫内や本体には触れない

(ドアの取っ手や操作部は除く)

やけどの原因になります。

調理後の角皿は、本体の上や熱に弱いものの上に置かない

焦げたり、変形する原因になります。

調理のときのお願い

■自動メニューのとき

- 加熱が足りないときは、手動加熱を使う

自動メニューを使うと、もう1度始めから加熱することになり、食品が焦げたり、発火することがあります。

- 記載の材料・分量を守る

材料や分量を変えるときは、手動加熱で様子を見ながら加熱してください。

- 少量の食品のとき(100g未満)は、自動メニューで加熱しない

■レンジ加熱のとき

- 金属類は、絶対に使用しない

火花が出て、機器を傷めたり、付属品が破損することがあります。

- 根菜などの少量加熱は、必ず浸るぐらいの水を入れる

少量(100g以下)の加熱は、火花の発生や食品が焦げたりして、故障の原因になります。

■オーブン・グリル加熱のとき

- ラップやプラスチック容器を使わない

溶けたり、発火するため使えません。

- できあがったら、すぐに庫内から取り出す

余熱で焼きすぎることになります。

■すべての加熱について

- 換気をしながら調理する

煙が多く出る場合があります。

- 食品は、庫内中央に均等に置いて加熱する

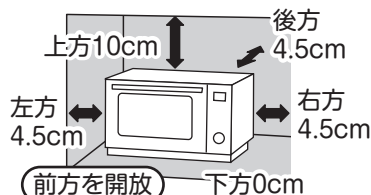
庫内端に置いて加熱すると、過加熱や突沸のおそれがあります。

- 繰り返し加熱するときは調理時間を短くしたり、仕上がり温度設定をしたり、様子を見ながら加熱する
庫内が熱い場合は、うまく仕上がらないことがあります。

- 容器など、それぞれの加熱に合ったものを使う
(P5参照)

設置

- 壁や家具などの可燃物から、図のように距離を離してご使用ください。
- 窓ガラスがある場合は、排気口から20cm以上離してください。
(温度差によって割れる場合があります。)
- 図のようなすき間があっても、周りを密閉した状態にしないでください。
- 本体の近くでは、無線機器(無線LANなど)の通信機能が低下することがあります。無線機器の取扱説明書などをよくお読みのうえ、ご使用ください。
- テレビ・ラジオ・アンテナ線から、3m以上離してください。
映像が乱れたり雑音が入るおそれがあります。



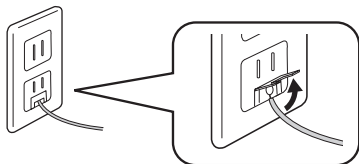
アースの取り付け

アースを確実に取り付けてください。
故障や漏電のときに感電するおそれがあります。

【アース付きコンセントがある場合】



アース線先端の被覆を取り去って、
アース端子に確実に固定してください。



ふたが付いている場合は、
ふたを開けて取り付けてください。

【アース付きコンセントがない場合】

販売店または電気工事店にご相談いただき、アース工事(D種接地工事)をしてください。

■アース工事(電気工事資格者によるD種接地工事)が必要な場所

【湿気の多い場所】土間、コンクリート床、酒や醤油などの醸造・貯蔵所

【水気のある場所(アースの他に漏電遮断機の設置も必要)】

洗い場など水を扱う場所、水滴の飛び散る場所、地下室など結露のおきやすい場所

■アース線を接続できないもの

ガス管、水道管、電話線や避雷針のアースには絶対に接続しないでください。

【注意】

- アース線が本体アース端子に確実に取り付けられているか確認してください。
- 設置場所の変更や転居の際には、再度アースの取り付けをおこなってください。

加熱のしくみ

【レンジ加熱】電波(高周波)が食品に当たると食品の水分が摩擦熱を起こし、加熱します。

- ※食品の種類・加熱前の温度によって加熱時間は異なります。
- ※食品の分量が2倍になると加熱時間は2倍弱になります。
- ※水分の少ない食品は、過熱して発火することがありますので、注意してください。
- ※市販の食品に添付されている脱酸素剤を加熱しないでください。異常高温になり危険です。
- ※庫内に何も入れずに加熱しないでください。異常高温になり危険です。

■電波の特性



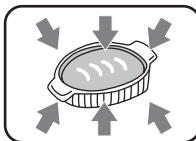
水分のある食品は
吸収されます。

耐熱性のある
ガラス容器、陶器
などは透過します。

金属性の器などは
反射します。
(使用できません)

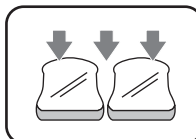
【ヒーター加熱】

■オープン加熱



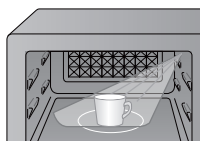
上下のヒーターの加熱を
温度センサーで調整し、
設定した庫内温度で焼き上げます。

■グリル加熱



上のヒーターで加熱し、食品の表面に
焼き色を付けたり、様子を見ながら
追加焼きをするときに使います。
両面を焼く時は調理の途中で食品を
うら返します。

【赤外線センサー】食品から出る赤外線を検知しながら調理し自動的に調理を終了します。 P8の注意事項を読んでから調理を行ってください。



使える容器・使えない容器

○使える容器 ×使えない容器

容器の種類	レンジ	オーブン・グリル
ガラス	■耐熱性のあるもの ○ 急に熱したり冷やさないでください。割れるおそれがあります。	○ 急に熱したり冷やさないでください。割れるおそれがあります。
	■耐熱性のないもの 強化ガラス、クリスタルガラス、カットグラスなど	×
プラスチック	■耐熱性のあるもの 耐熱温度140℃以上または「電子レンジ使用可」の表示があるもの	× ただし、「オープン・トースター・グリル使用可」の表示のあるものは使えます。
	■熱に弱いもの （耐熱温度140℃未満）	×
陶磁器	○ ●ただし、絵付け、ヒビ模様、金や銀の装飾のあるものは、器を傷めたり、火花をおこすので使えません。 ●急に熱したり冷やすと割れることがあります。	× ただし、耐熱性のある陶磁器やグラタン皿などは使えます。
漆器など	× ●漆器は塗りがはげたり、ひび割れたり、変色することがあり使えません。 ●クッキングシートも焦げたり、燃えたりして使えません。	× ただし、オープンシートは使用できます。
金属	× スパークして本体を傷めるため使えません。 金・銀箔のあるフィルムやテープ、針金の入ったテープなども使えません。	○
その他	■ラップ （耐熱温度140℃以上）	×
	■特殊な形状の容器	×

各部の名称

【正面】

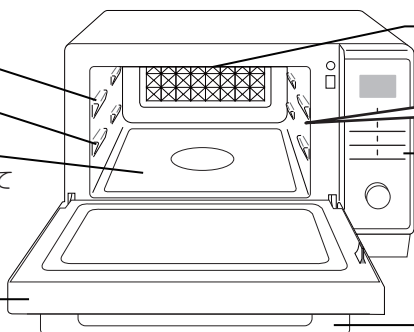
角皿支え(上段)

角皿支え(下段)

加熱台

調理するものは中央に置いてください。衝撃を与えたり、熱い状態で水をかけたりしないでください。

ドア



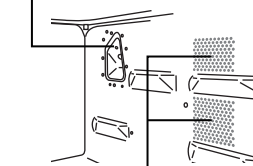
ヒーター
庫内上部に内蔵

操作部

取っ手

赤外線センサー

食品の表面温度を検知します。



庫内灯

ドアを開けたときおよび加熱するとき点灯します。

【背面】

排気口

ふさがないでください。

吸気口

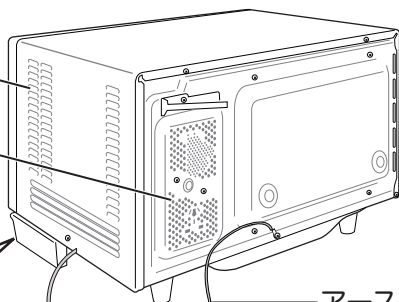
ふさがないでください。

飾りカバー

移動時などに外れることがあります。その場合はカバーを押して固定してください。

押す

押す



アース線

確実に取り付けてください。(P4参照)

電源プラグ

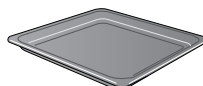
15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。

電源コード

傷をつけないようにしてください。

付属品

角皿



- オープンやグリル調理をするときに使用します。
- スチームメニューのときは、隅の凹部に水を入れます。
- レンジには使用しないでください。火花が飛んで使用できません。

【操作部】

表示部

自動メニューの番号・仕上がり設定・時間・温度などを表示します。

取消ボタン

設定を間違えたときや、加熱を途中で止めたいときに使います。

解凍ボタン

赤外線センサーを使用してレンジ加熱を行います。([2]解凍 [3]半解凍) → P10

手動調理ボタン

調理に合わせて、手動で時間・温度を設定するときに使います。

仕上がり温度設定ボタン

自動メニューでの仕上がりの強弱の設定やオープンの温度設定に使い、仕上がり設定は5段階あります。

●仕上がりの強弱の設定

標準 ■■■■

+

1回押すと

2回押すと

-

1回押すと

2回押すと

取消

スタート

あたため

解凍

自動

メニュー

オート

レンジ

出力切替

時短

お急ぎ

オープン

グリル

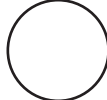
-

仕上がり

温度設定

+

メニュー/時間



スタートボタン

加熱を開始するときに使います。
※加熱中にドアを開けると、一時停止します。
ドアを閉めてスタートボタンを押すと加熱を再開します。

あたためボタン

[0]表示中に押すと、赤外線センサーを使用した [1]あたためを簡単に行います。

メニューオートボタン → P10~18

温度と時間の設定を自動で行います。

- | | |
|-------------|--------------|
| [4] お酒 | [13] 冷凍ピザ |
| [5] 牛乳 | [14] クッキー |
| [6] 葉菜 | [15] フライあたため |
| [7] 根菜 | [16] グラタン |
| [8] お弁当 | [17] きんぴらごぼう |
| [9] 解凍あたため | [18] 肉じゃが |
| [10] トースト | [19] 茶碗蒸し |
| [11] 鶏のから揚げ | [20] スポンジケーキ |
| [12] ハンバーグ | |

時短お急ぎボタン → P9

加熱開始後15秒以内に押すと、自動で出力が上がり、加熱時間を短縮します。
※自動メニュー[1]、[4]~[9]、手動レンジ 600W・500Wで加熱時に使用できます。

メニュー/時間合わせダイヤル

ダイヤルを回してメニュー、調理の時間を設定します。

いろいろな機能

【電源を入れるには】

電源プラグをコンセントに差し込み、ドアを開けることで電源が入ります。このとき、表示部に「0」と表示されます。

【オートオフ機能】

- ドアを開けて、何もしないと電源が切れて、表示部の表示が消えます。
- オートオフが働き電源が切れたときは、ドアを開けることで電源が入り、表示部に「0」と表示されます。
- 次の場合は、電源が切れません。
 - ・冷却ファンが回っているとき
 - ・庫内が高温のとき

【仕上がり設定機能】

- 自動メニューのときに、仕上がり温度設定ボタンを押すことで加熱時間を増減できます。
 - ＋を押すと加熱時間が長くなります。
 - －を押すと加熱時間が短くなります。
- 加熱前(「スタート」ボタンを押す前)に設定してください。
- お酒を加熱するときは、弱めに設定してください。

【庫内灯について】

- ドアを開くと庫内灯が点灯します。
- 加熱中は、庫内灯が点灯して、加熱が終了すると消灯します。

【時短お急ぎ加熱】

加熱開始後、15秒以内に「時短お急ぎ」ボタンを押すと、自動で出力が上がり、加熱時間を短縮することができます。(9ページ参照)

【消音モード】

- ドアを開けると電源が入り、表示部に「0」と表示されます。このとき、取消ボタンを3秒以上押すと消音モードになり、「OFF」が表示されてボタン操作音が鳴らなくなります。
- 復帰させるには、表示部に「0」と表示された状態で、再度取消ボタンを「On」を表示するまで3秒以上押してください。



【取消ボタン】

- 各運転の設定中や加熱中に取消ボタンを押すと、設定がリセットされ、表示部に「0」と表示されます。
- 加熱中に取消ボタンを押すと加熱を中断し、表示の時間が一時停止します。
 - ※もう1度取消ボタンを押すと設定が解除され、「0」と表示されます。
 - ※スタートボタンを押すと再び加熱を始めます。
- 赤外線センサーメニュー調理中に一時停止した場合は再開しないでください。赤外線センサーが正しく検知しない場合があります。手動レンジ600Wで様子を見ながらあたためてください。

加熱中にドアを開けると一時加熱を中止します。ドアを閉めてスタートボタンを押すと、残りの加熱を再開します。

【取り忘れブザー】

それぞれの加熱調理が終了したとき、庫内から食品を取り出さないと約1分後にブザーが鳴ってお知らせします。(1分おきに5回)

【チャイルドロック】

「0」表示中に、取消ボタンを押しながらスタートボタンを押します。
表示部に「」と表示され、どのボタンを押しても操作ができなくなります。
※解除するときは、再び取消ボタンを押しながらスタートボタンを押してください。
※チャイルドロックは、オートオフが動作しても、電源コードを抜いても保持されます。

【加熱時間表示】

- スタートボタンを押して加熱が始まると、残りの加熱時間を表示します。
- 赤外線センサー調理では調理開始後「」(回転)を表示し、赤外線センサーが温度を検知し、加熱時間確定後残り時間を表示します。残り時間を表示しないまま終了することもあります。

【冷却ファン】

加熱後は、機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

お知らせ 機器の運転時には以下のような音がしますが、異常ではありません。

- 加熱中の音
- 「ブーン」→冷却ファンの回る音、内部変圧器などの動作音
 - 「カチッ」→出力を切換・調整するためにスイッチが動作する音

- 加熱後の音
- 「ブーン」→冷却ファンの回る音

設置場所によっては共鳴して大きく聞こえることもあります。以前までしなかった音が急に鳴り出したり、異音と思われる場合は販売店、または取扱説明書記載の「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

いろいろな機能

【自動あたための注意とコツ】

- 続けて使用するとき、必ず庫内を十分に冷ましてから使用してください。
※ 庫内が熱いと赤外線センサーが食品の温度を正しく検知できず、上手にあたためられません。
- 食品は庫内の中央に置いてください。
※ 中央から外れた位置に置くと、過加熱になったり、あたたまらない場合があります。必ず庫内の中央に置いてください。
※ 飲み物は、端に置くと過加熱になり、沸騰したり、庫内から取り出したあとに突然吹き出したりして、やけどの原因になります。
※ 小さい食品は、中央に置いて正しく検知できないことがあり、食品が発煙・発火する原因になります。
少量の食品は手動の「レンジ」で時間を控えめに設定し、様子を見ながらあたためてください。

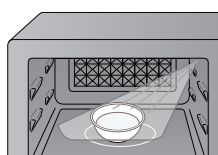
- 赤外線センサーを使用するメニューのときは、
 - ・ 食品の分量に合った大きさの容器を使ってください。
※ 容器の高さに対して食品の量が少ないと、赤外線センサーが正しく温度を測定できず上手にあたためられません。
 - ・ ふたは外してあたためてください。
※ ふたをすると赤外線センサーが正しく食品の温度を検知できなくなります。

【赤外線センサーを使用するメニュー】

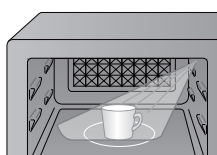
- | | | |
|------------|----------|--------------|
| [1] あたため | [4] お酒 | [7] 根菜 |
| [2] 解凍 | [5] 牛乳 | [8] お弁当 |
| [3] 半解凍 | [6] 葉菜 | [9] 解凍あたため |

赤外線センサーメニューは食品から出る赤外線を検知しながら自動で食品をあたためるメニューです。

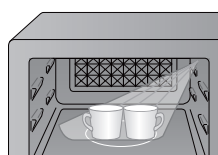
- 赤外線センサーの検知イメージと置きかたの例



あたため、お好み温度

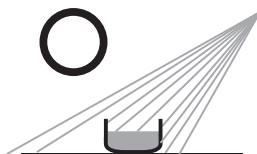
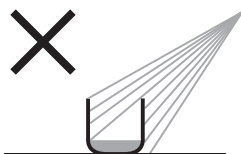
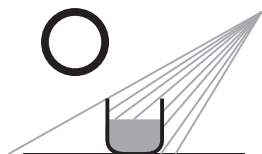


マグカップ1個(牛乳)



マグカップ2個(牛乳)

容器の高さに対して食品の量が少ないと、赤外線センサーが正しく温度を測定できず上手にあたためられません。



から焼きをする

- 初めて使用する前に、庫内の油分やにおいを取り除くために、行ってください。
- 煙やにおいが出ますので、窓を開けたり換気扇を回してください。
- 煙やにおいに敏感なペットなどは、別の部屋に移してください。

- 1 ドアを開けて「0」を表示させ、
庫内に何も入れずにドアを閉める
角皿も入れないでください。

- 2 「オープン」ボタンを2回押し、
「+」ボタンを3回押して200℃に合わせる



- 3 ダイヤルを回して20分に合わせる



- 4 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、から焼きが始まります。
このとき、残り時間が表示されます。

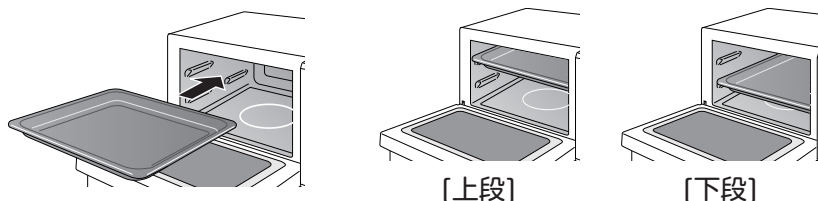
- 5 から焼き完了

ブザーが鳴ってお知らせします。機器の冷却のため
ファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

- ・ 続けて調理を行う場合は、ドアを開けて庫内を十分冷ましてから行ってください。
- ・ 連続してから焼きをしないでください。
- ・ 庫内が熱くなっていますので、やけどなどにご注意ください。

準備

- オーブンやグリルを使用するときは角皿をセットしてください。
調理するものによって上段、または下段にセットします。
(オートメニューの場合は表示部に上段、または下段を表示します。)
- レンジを使用するときは、角皿を絶対に使用しないでください。



⚠ 注意

ご使用時には角皿や庫内の汚れをよくふき取ってください。
発煙、発火のおそれがあります。

時短お急ぎ加熱をする

- 「スタートあたため」ボタンを押した後、15秒以内に「時短お急ぎ」ボタンを押すと、自動で出力が上がり、加熱時間を短縮することができます(時間は自動で短縮されます)。
- 表示部に「」(回転)が表示されます。
- 短縮される時間は自動的に計算されますが、レンジ動作時間により短縮される時間が変わります。
また、本体が熱い場合は「時短お急ぎ」を受け付けない場合があります。

自動メニュー[1]、[4]～[9]、手動レンジ600W・500Wで加熱時に使用できます。

1 ご飯・みそ汁をあたためる 自動メニュー

1 ドアを開けて、ご飯・みそ汁を庫内中央に置く

- 加熱の基準量：150g(1杯) ●1度に加熱できる分量：1～3杯

- ・庫内端に置いて加熱すると、過加熱や突沸のおそれがあります。
- ・2杯以上入れるときは分量をそろえて庫内中央に寄せて置いてください。

※飲み物は、[1]あたため で加熱しないでください。
飲み物は[4]お酒 [5]牛乳または手動設定(P21参照)であたためてください。

2 ドアを閉めて「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。「」(回転)を表示し、赤外線センサーが食品の温度を検知します。
その後調理時間確定後、表示部に残り時間が表示されます。(残り時間を表示しないまま終了することもあります。)

仕上がりを設定したいときは、加熱開始後10秒以内に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

3 できあがり

ブザーが鳴ってお知らせします。機器の冷却のためファンが回ることがありますので、電源プラグを抜かないでください。
※加熱が足りないときは手動でレンジ600Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P21参照)。
※庫内温度が高いと「高温表示」が表示されます。製品が冷めてから調理を行ってください。

ご飯 ・容器が熱い場合がありますので気をつけて取り出してください。

みそ汁 ・加熱前と加熱後には、よくかき混ぜてください。
・加熱しすぎないでください。

調理開始後15秒以内に「時短お急ぎ」ボタンを押すことで調理時間を短縮することができます。

2・3 解凍する 自動メニュー

1 ドアを開けて、食品を庫内中央に置く

1度に加熱できる量:100g～500g

- ・冷凍庫から出したばかりの凍った食品を解凍してください。溶けかけているときは、レンジ200Wで様子を見ながら解凍します。
- ・解凍する食品が複数の場合は、同じ種類で大きさを揃えてください。
- ・庫内端に置いて加熱すると、過加熱のおそれがあります。庫内中央に寄せて置いてください。

2 ドアを閉めて「解凍」ボタンを押して、メニュー番号2(解凍)・3(半解凍)に合わせる

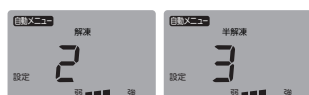
ボタンを押すごとにメニュー番号が変わります。

※解凍

…料理の下ごしらえができるくらいまで解凍します。

※半解凍

…刺身などを包丁が入るくらいまで解凍します。



2 解凍

3 半解凍

3 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。[] (回転)を表示し、赤外線センサーが食品の温度を検知します。その後調理時間確定後、表示部に残り時間が表示されます。

(残り時間を表示しないまま終了することもあります。)

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

4 できあがり

ブザーが鳴ってお知らせします。機器の冷却のためファンが回ることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

※加熱が足りないときは手でレンジ200Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P21参照)。

※庫内温度が高いと「高温表示」が表示されます。

製品が冷めてから調理を行ってください。

・発泡トレーに載せたまま解凍します。発泡トレーを使わないときは、平皿にキッチンペーパーを敷いた上に食品を置きます。

・変色や煮えを防ぐため、細い部分や薄い部分にはアルミホイルを巻いてください。

・アルミホイルを巻いたままレンジで加熱するとスパークして本体を傷めるため、レンジ加熱する場合は必ず外してください。(P19参照)

4・5 お酒・牛乳をあたためる 自動メニュー

1 ドアを開けて、お酒・牛乳を庫内中央に置く

●加熱前の基準温度

4 お酒：常温保存(約20℃)

●加熱の基準量

お酒1杯：180mL

●1度に加熱できる分量

1～3杯

●使用する容器

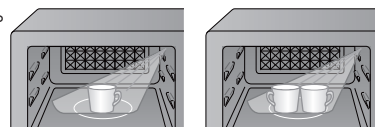
背が低くすんぐりとしたとっくり
背が低く広口のマグカップ

お酒・牛乳を低めの広口容器に8分目まで入れて、必ず庫内中央に置いてください。

※2杯以上入れるときは、分量をそろえてください。

※とっくり・マグカップは庫内中央に置きます。2～3杯の時は中央に寄せて置いてください。

庫内中央以外に置くと赤外線センサーが正しく検知できず、過加熱や突沸のおそれがあります。



マグカップ1個(牛乳) マグカップ2個(牛乳)

2 ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回してメニュー番号4(お酒)・5(牛乳)に合わせる



4 お酒

5 牛乳

3 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。[] (回転)を表示し、赤外線センサーが食品の温度を検知します。調理時間確定後、表示部に残り時間が表示されます。(残り時間を表示しないまま終了することもあります。)

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

4 できあがり

ブザーが鳴ってお知らせします。機器の冷却のためファンが回ることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

※加熱が足りないときは手でレンジ600Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P21参照)。

※庫内温度が高いと「高温表示」が表示されます。

製品が冷めてから調理を行ってください。

・ビンに入っている飲み物は、必ず耐熱容器に移しかえてください。

・ふたやラップをしないでください。

・加熱前と加熱後には、必ずスプーンなどでよくかき混ぜてください。

・加熱しすぎないでください。

・お酒を加熱するときは、弱めに調整してください

調理開始後15秒以内に「時短お急ぎ」ボタンを押すことで調理時間を短縮することができます。(P9参照)

6・7 野菜をゆでる 自動メニュー

1 ドアを開けて、野菜を庫内中央に置く

●1度に加熱できる重量

6 葉菜：100～300g 7 根菜：100～500g

※材料の大きさは、そろえておきます。

※水気を残して加熱してください。

※アクの強い野菜は、加熱の前後にアク抜きをしてください。

葉菜は洗った後の水滴がついたままラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿にのせます。

根菜は水が付いたまま平皿に入れ、ラップを食品に密着する様に平皿ごとかけます。

食品を密封させない様にラップのふちを若干あけて、平皿を必ず庫内中央に置いてください。(P19参照)

※庫内端に置いたり、ラップが食品に密着していない状態で加熱すると、過加熱や乾燥のおそれがあります。

2 ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回してメニュー番号6(葉菜)・7(根菜)に合わせる



6 葉菜



7 根菜

葉菜：ほうレン草、白菜、キャベツ、ブロッコリー等
根菜：大根、にんじん、ごぼう、イモ類等

3 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。[] (回転)を表示し、赤外線センサーが食品の温度を検知します。その後調理時間確定後、表示部に残り時間が表示されます。

(残り時間を表示しないまま終了することもあります。)

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

4 できあがり

ブザーが鳴ってお知らせします。機器の冷却のためファンが回ることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

※加熱が足りないときは手動でレンジ600Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P21参照)。

※庫内温度が高いと「高温表示」が表示されます。

製品が冷めてから調理を行ってください。

- ・じゃがいもなどを丸ごとゆでるときは、加熱後、庫内から取り出しラップをしたまま5分ほど蒸らすと、ムラなく仕上がります。
- ・加熱しすぎたり、少量を加熱すると発煙・発火の原因になります。

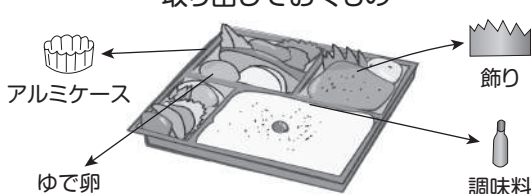
調理開始後15秒以内に「時短お急ぎ」ボタンを押すことで調理時間を短縮することができます。(P9参照)

8 お弁当をあたためる 自動メニュー

1 ドアを開けて、お弁当を庫内中央に置く

加熱の基準量：お弁当1個(約400g)

取り出しておくもの



※庫内端に置いて加熱すると、過加熱のおそれがあります。

※包装しているラップやふたは、変形したり溶けるものがあるため、必ず外してください。

※次のものは、破裂や発火のおそれがありますので、必ず取り出してください。

- ・アルミホイル
- ・調味料が入った容器や袋
- ・ゆで卵
- ・アルミケース
- ・飾り

2 ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回してメニュー番号8に合わせる



3 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。[] (回転)を表示し、赤外線センサーが食品の温度を検知します。その後調理時間確定後、表示部に残り時間が表示されます。

(残り時間を表示しないまま終了することもあります。)

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

4 できあがり

ブザーが鳴ってお知らせします。機器の冷却のためファンが回ることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

※加熱が足りないときは手動でレンジ600Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P21参照)。

※庫内温度が高いと「高温表示」が表示されます。

製品が冷めてから調理を行ってください。

加熱しすぎたり、少量を加熱すると発煙・発火の原因になります。

調理開始後15秒以内に「時短お急ぎ」ボタンを押すことで調理時間を短縮することができます。(P9参照)

9 冷凍食品をあたためる 自動メニュー

1 ドアを開けて、冷凍食品を庫内中央に置く

1度に加熱できる量:100g～300g

- ・冷凍庫から出したばかりの凍った食品をあたためてください。
- ・解凍する食品が複数の場合は、同じ種類で大きさを揃えてください。
- ・庫内端に置いて加熱すると、過加熱のおそれがあります。

2 ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回してメニュー番号9に合わせる



3 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。[] (回転)を表示し、赤外線センサーが食品の温度を検知します。その後調理時間確定後、表示部に残り時間が表示されます。

(残り時間を表示しないまま終了することもあります。)

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

4 できあがり

ブザーが鳴ってお知らせします。機器の冷却のためファンが回ることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

※加熱が足りないときは手でレンジ600Wに設定して、様子を見ながら加熱してください(P21参照)。

※庫内温度が高いと「高温表示」が表示されます。製品が冷めてから調理を行ってください。

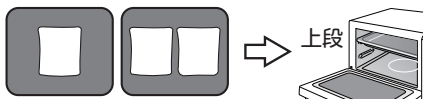
アルミホイルを巻いたままレンジで加熱すると、スパークして本体を傷めるため、必ず外してください(P19参照)。

調理開始後15秒以内に「時短お急ぎ」ボタンを押すことで調理時間を短縮することができます。(P9参照)

10 トースト 自動メニュー

1 食パンを角皿中央に均等に置いて、角皿を庫内上段に入れる

1度に焼ける枚数：1枚～2枚



- ・食パンの大きさや種類によって焼け具合が違います。様子を見ながら時間を調整してください。
- ・連続して焼くときはメニューオートボタンを使わないでください。焼け過ぎてしまうため手動のグリル調理で行ってください。
- ・食パンにバターやジャムなどを塗って焼かないでください。発火のおそれがあります。

2 ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回してメニュー番号10に合わせる



10 食パン1枚 10 食パン2枚

3 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき表示部に残り時間が表示されます。

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

4 食パンを裏返す

①ブザーが鳴ったら、ドアを開けて手早くパンを裏返してください。熱いためミトンなどを使用し、やけどに注意してください。

②再び「スタート」ボタンを押してください。

5 できあがり

ブザーが鳴ってお知らせします。機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

※加熱が足りないときは手でグリルを設定して、様子を見ながら加熱してください(P21参照)。

・焼き上がった食パンの角皿にのせた面は水蒸気で柔らかくなります。角皿にオープンレンジ用足つき網などを置き、その上に食パンを置くと柔らかくなることを防げますが、焼き過ぎになることがありますので注意してください。

・調理後は庫内や角皿が熱くなっています。食パンの出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

11 鶏のから揚げ 自動メニュー

【材料(4人分)】

- ・ 鶏もも肉2枚 (500g)
- ・ から揚げ粉30g

【作りかた】

- ①鶏もも肉は皮目をフォークで何箇所か刺しておきます。
- ②鶏もも肉とから揚げ粉をポリ袋に入れ、均等になじませて30分置きます。
- ③角皿にアルミホイルを敷き、②を鶏もも肉の皮を上向きにして並べます。
- ④ドアを開けて角皿を**上段**に入れます。
ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回して**メニュー番号11**に合わせてください。



- ⑤「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき表示部に残り時間が表示されます。

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

- ⑥加熱終了後、ブザーが鳴ってお知らせします。
機器の冷却のためファンが回ることがありますので、電源プラグを抜かないでください。

手動調理で加熱するときの設定目安：グリル約22分

調理後は庫内や角皿が熱くなっています。
食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

12 ハンバーグ 自動メニュー

【材料(4個分)】

※1～3個の場合は分量を調整してください。

- ・ ひき肉400g
- ・ パン粉30g
- ・ 塩小さじ1/2
- ・ バター10g
- ・ 牛乳大さじ3
- ・ 玉ねぎ(みじん切り)150g
- ・ A(卵液1/2個、胡椒、ナツメグ少々)

1度に加熱できる量：1～4個

【作りかた】

レンジ加熱時は絶対に角皿を入れないでください。

■レンジで加熱するとき

「レンジ」600Wを
設定(P21参照) ➡ ダイヤルを回して
記載の時間に合わせる。

- ①耐熱皿に玉ねぎとバター入れてラップをします。
- ②庫内中央に①を置き、レンジ「1分」に合わせて「スタート」ボタンを押してください。
- ③パン粉に牛乳を入れ、なじませます。
- ④ひき肉に塩を入れ、粘りが出るまでよく捏ねます。
②、③、Aを入れて混ぜます。
- ⑤④を4等分に分けて縦9cmの楕円型に成形します。
中心部は少し押さえてくぼませます。
- ⑥角皿にアルミホイルまたはクッキングシートを敷き、
⑤を並べます。

- ⑦ドアを開けて角皿を**上段**に入れます。
ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回して**メニュー番号12**に合わせてください。



- ⑧「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき表示部に残り時間が表示されます。

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

- ⑨加熱終了後、ブザーが鳴ってお知らせします。
機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

手動調理で加熱するときの設定目安：オープン200℃(予熱なし)
1個：約19分 2個：約21分 3個：約23分 4個：約25分

調理後は庫内や角皿が熱くなっています。
食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

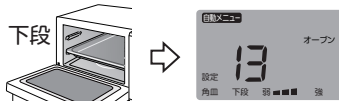
13 冷凍ピザをあたためる 自動メニュー

【材料】

冷凍ピザ直径約22cm×1枚(約250g)

【作りかた】

- ①包装しているラップを外し、角皿に載せ、ドアを開けて角皿を**下段**に入れます。
- ②ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回して**メニュー番号13**に合わせてください。



- ③「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき表示部に残り時間が表示されます。

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

- ④加熱終了後、ブザーが鳴ってお知らせします。
機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

手動調理で加熱するときの設定目安
オープン190℃(予熱なし)→約20分

調理後は庫内や角皿が熱くなっています。
食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

14 クッキー 自動メニュー

【材料】

- ・薄力粉120g
- ・バター60g
- ・溶き卵1/2個
- ・砂糖50g
- ・バニラエッセンス少々



【作りかた】

- ①ボウルに柔らかくしたバターと砂糖を入れ、泡立て器で白っぽくなるまでよく混ぜてください。
- ②溶き卵を少しずつ加えてさらに混ぜ、バニラエッセンスを加えます。
- ③②に薄力粉をふるって加え、木べらで混ぜ合わせて、ひとまとめにします。
- ④ポリ袋に入れ麺棒で5mmの厚さに伸ばして、冷蔵庫に30分程度寝かせてください。
- ⑤ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回して**メニュー番号14**に合わせてください。



- ⑥「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、予熱が始まります(約10分)。
※予熱が終了するとブザーが鳴ってお知らせします。



(予熱点滅)

仕上がりを設定したいときは、予熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

- ⑦予熱の間に、打ち粉をした台に生地を取り出し、好みの型で抜き、バターを薄く塗った角皿に並べてください。

- ⑧予熱終了後、ドアを開けて角皿を**下段**に入れ、ドアを閉めて「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき表示部に残り時間が表示されます。



- ⑨加熱終了後、ブザーが鳴ってお知らせします。
機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

手動調理で加熱するときの設定目安
オープン170℃(予熱あり)→約18分

調理後は庫内や角皿が熱くなっています。
クッキーの出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

15 フライをあたためる

自動メニュー

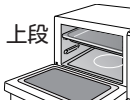
【材料】

常温または冷蔵フライ (約100g/1個)

1度に加熱できる量：1～3個

【作りかた】

- ①角皿に冷蔵フライを並べて、ドアを開けて角皿を**上段**に入れます。



- ②ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回して**メニュー番号15**に合わせてください。



15 フライ1個



15 フライ2個



15 フライ3個

- ③「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき表示部に残り時間が表示されます。

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

- ④加熱終了後、ブザーが鳴ってお知らせします。
機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

手動調理で加熱するときの設定目安：オープン190℃ (予熱なし)
1個：約11分 2個：約11分30秒 3個：約12分

調理後は庫内や角皿が熱くなっています。
食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

16 グラタン

自動メニュー

【材料(マカロニグラタン2人分)】

※1人分は半量にしてください。

- ・ホワイトソース
(薄力粉15g、バター15g、牛乳1カップ、塩・胡椒少々)
- ・マカロニ40g(鍋でゆでておく)
- ・マッシュルーム25g
- ・チーズ40g
- ・A(鶏むね肉(一口大)50g、玉ねぎ(薄切り)50g、
むきえび50g、バター大さじ1、塩・胡椒少々、
白ワイン大さじ1)

【作りかた】※1人分のレンジ加熱は 時間を半分にしてください。

レンジ加熱時は絶対に角皿を入れないでください。

■レンジで加熱するとき

「レンジ」600Wを
設定(P21参照) ➡ ダイヤルを回して
記載の時間に合わせる。

- ①耐熱容器に薄力粉とバターを入れ、庫内中央に置きます。ドアを閉めて、レンジ「1分」に合わせて「スタート」ボタンを押してください。
- ②加熱後よく混ぜ合わせて、牛乳を一度に加えさらに混ぜ合わせてください。
- ③再び庫内に置き、ドアを閉めて、レンジ「4分30秒」に合わせて「スタート」ボタンを押してください。
沸騰するまで加熱し、途中2～3度混ぜ合わせてください。
- ④加熱後、塩・胡椒を加えて、味を整えます。
- ⑤耐熱容器にAを入れ、ラップをして庫内中央に置きます。ドアを閉めて、レンジ「4分」に合わせて「スタート」ボタンを押してください。

- ⑥加熱後、混ぜ合わせます。マッシュルームを加えてドアを閉めて、レンジ「1分」に合わせて「スタート」ボタンを押してください。

- ⑦ホワイトソース半量とゆでたマカロニを⑥に入れ、混ぜ合わせます。

- ⑧薄くバターを塗ったグラタン皿に⑦を入れ、残りのホワイトソースをかけ、チーズをのせてから**角皿に並べ上段**に入れます。

- ⑨ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回して**メニュー番号16**に合わせてください。



16 グラタン1人分



16 グラタン2人分

- ⑩「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき表示部に残り時間が表示されます。

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

- ⑪加熱終了後、ブザーが鳴ってお知らせします。
機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

手動調理で加熱するときの設定目安：グリル
1人分：約15分 2人分：約16分

調理後は庫内や角皿が熱くなっています。
食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないように十分注意してください。

17 きんぴらごぼう 自動メニュー

【材料(4人分)】

※1〜3人分の場合は分量を調整してください。

- ・ごぼう150g
- ・人参50g
- ・A(しょうゆ・みりん・料理酒各大さじ2、砂糖・ごま油各大さじ1)

1度に加熱できる量：1〜4人分

【作りかた】※角皿は使用しません。

- ①ごぼうと人参を長さ5cmに細切りし、ごぼうを2〜3分ほど水に浸けます。
- ②ごぼうの水をふき、人参とともに耐熱容器に入れ、Aを加えてよく混ぜます。
容器にふんわりとラップをします。
ドアを開けて、耐熱容器を庫内に入れます。
- ③ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回して**メニュー番号17**に合わせてください。



17 きんぴらごぼう 1人分



17 きんぴらごぼう 2人分



17 きんぴらごぼう 3人分



17 きんぴらごぼう 4人分

- ④「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき表示部に残り時間が表示されます。

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

- ⑤加熱終了後、ブザーが鳴ってお知らせします。
機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

手動調理で加熱するときは、レンジ600Wで様子を見ながら行ってください。

18 肉じゃが 自動メニュー

【材料(2〜3人分)】

- ・じゃがいも2個(300g)
- ・牛肉または豚肉薄切り150g
- ・玉ねぎ(薄切り)120g
- ・さやえんどう(ゆでたもの)適宜
- ・A(水200ml、しょうゆ大さじ3、砂糖大さじ2、酒・みりん大さじ1)

【作りかた】※角皿は使用しません。

- ①じゃがいもは皮をむいて6〜8等分にし、牛肉は3〜4cm幅に切ります。
- ②中火で熱したフライパンにサラダ油大さじ1(分量外)を引き、玉ねぎと①を炒めます。
- ③深めの耐熱容器に②とAを入れ、オープンシートなどで落しぶたをします。
さらに軽くラップをして庫内中央に置いてください。

- ④ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回して**メニュー番号18**に合わせてください。



- ⑤「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき表示部に残り時間が表示されます。

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

- ⑥加熱終了後、ブザーが鳴ってお知らせします。
機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

- ⑦庫内から取り出し、さやえんどうを加えて出来上がりです。

手動調理で加熱するときは、レンジ500Wで様子を見ながら行ってください。

19 茶碗蒸し

自動メニュー

【材料(4人分)】

- ・ 干しいたけ(水で戻す)2枚
- ・ ささみ100g
- ・ えび4尾
- ・ ぎんなん8粒
- ・ かまぼこ4切れ
- ・ みつ葉適宜
- ・ A(干しいたけの戻し汁大さじ2、しょうゆ・砂糖大さじ1)
- ・ 卵液(卵2個、だし汁2カップ、しょうゆ小さじ1、塩小さじ1/3、みりん小さじ2)



【作りかた】

レンジ加熱時は絶対に角皿を入れないでください。

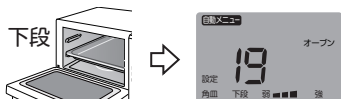
■レンジで加熱するとき

「レンジ」600Wを
設定(P21参照) ⇨ ダイアルを回して
記載の時間に合わせる。

- ① 干しいたけは半分に切り、耐熱容器にAと一緒に入れます。庫内中央に置き、ドアを閉めてレンジ「1分」に合わせて、スタートボタンを押して加熱してください。
- ② ささみは、酒・塩(分量外)をかけて臭みを取り、出てきた水分をふき取ったら一口大に切ります。
- ③ えびは殻をむいて背わたを取ったら酒・塩(分量外)をかけて臭みを取り、軽く湯通しします。
- ④ 卵をよくときほぐしてだし汁でのばし、しょうゆ・塩・みりんを加えて混ぜ、こし器などでこします。
- ⑤ 耐熱性の蒸し茶わんに①②③とかまぼこ・ぎんなんを入れ、④の卵液を8分目まで入れます。
- ⑥ 角皿に⑤を均等に置きます。
- ⑦ 角皿の四隅に各15mL(合計60mL)の水を注ぎます。



- ⑧ ドアを開けて角皿を**下段**に入れます。
ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、
ダイヤルを回して**メニュー番号19**に合わせてください。



- ⑨ 「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき表示部に残り時間が表示されます。

仕上がりを設定したいときは、加熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

- ⑩ 加熱終了後、ブザーが鳴ってお知らせします。
機器の冷却のためファンが回りますので、
電源プラグを抜かないでください。

- ⑪ 庫内から取り出し、みつ葉を散らして出来上がりです。

手動調理で加熱するときの設定目安
オープン150℃(予熱なし)→約38分

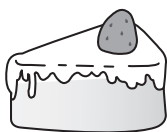
- ・ 調理後は庫内や角皿が熱くなっています。
食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、
やけどをしないように十分注意してください。
- ・ 調理後は、庫内に水蒸気がこもっています。
必ずドアを開けて十分乾燥させてください。

20 スポンジケーキ

自動メニュー

【材料(18cmケーキ型1個分)】

- ・薄力粉90g
- ・卵3個
- ・バター15g
- ・砂糖90g
- ・牛乳大さじ1
- ・フルーツ適量
- ・バニラエッセンス少々
- ・ホイップクリーム
(生クリーム300g、砂糖55g、ブランデー大さじ1)



【作りかた】

レンジ加熱時は絶対に角皿を入れないでください。

■レンジで加熱をするとき

「レンジ」600Wを
設定(P21参照) ➡ ダイヤルを回して
記載の時間に合わせる。

- ①卵を卵黄と卵白に分け、卵白はボウルに入れ湯煎をして、泡立て器で角が立つようになるまでよく泡立てます。半量の砂糖を2～3回に分けて加え、さらによく泡立てます。
- ②卵黄に残りの砂糖を入れて、白っぽくなるまで泡立てます。
- ③①に②を加え、クリーム状になるまで泡立て、バニラエッセンスを加えてください。
- ④耐熱容器にバターと牛乳を入れ、庫内中央に置いてください。ドアを閉めて、レンジ「40秒」に合わせて「スタート」ボタンを押してバターを溶かします。
- ⑤ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回して**メニュー番号20**に合わせてください。



- ⑥「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、予熱が始まります(約10分)。
※予熱が終了するとブザーが鳴ってお知らせします。



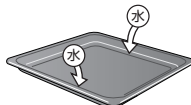
(予熱点滅)

仕上がりを設定したいときは、予熱前に仕上がり温度設定ボタンを押してください。(P6参照)

- ⑦予熱中に、③に薄力粉をふるいながら加え、木べらで切るようにしながら手早く混ぜ合わせます。さらに、④を温かいうちに加えて手早く混ぜ合わせてください。

- ⑧薄くバター(分量外)を塗ったケーキ型に、⑦を高い位置からゆっくり流し入れ、トントンとたたいて空気を抜き、角皿にのせます。

- ⑨角皿の前後の隅に各15mL(合計30mL)の水をケーキ型に触れないように注ぎます。



- ⑩予熱終了後、ドアを開けて角皿を**下段**に入れ、ドアを閉めて「スタート」ボタンを押してください。
庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき表示部に残り時間が表示されます。



- ⑪加熱終了後、ブザーが鳴ってお知らせします。
機器の冷却のためファンが回りますので、
電源プラグを抜かないでください。

調理後は庫内や角皿が熱くなっています。
ケーキの出し入れの際には、ミトンなどを使用し、
やけどをしないように十分注意してください。

- ⑫焼き上がったら、焼き落ちを防ぐため、すぐに型ごと20cm～30cmの高さから1回落とします。

- ⑬ボウルに生クリーム・砂糖・ブランデーを入れ、底を氷水に当てて、クリーム状に泡立てます。

- ⑭十分冷ましたスポンジケーキの表面を、ホイップクリームやフルーツなどで飾って出来上がりです。

手動調理で加熱するときの設定目安
オープン160℃(予熱あり)→約28分

レンジを上手に使うポイント

上手に加熱するために

●容器を必ず確認する(P5参照)

耐熱性のない容器やアルミホイルなどは、使用しないでください。

●卵はそのまま加熱しない

・破裂して危険です。卵を加熱するときは、割ってから、黄身も白身もよくほぐしてください。
・ゆで卵もあたためないでください。

●お弁当は1個ずつあたためる

・上下に積み重ねたりすると、うまくあたためられません。
・調味料の容器、アルミケース、飾りなどを取り除いてからあたためてください。

●ゆでる(煮る)調理は、食材の厚みや大きさをそろえる

加熱ムラを少なくすることができます。

●加熱の途中でかき混ぜたり、裏返す

加熱ムラを少なくすることができます。

上手に解凍するために

手動で解凍するときは必ず200Wにする

●ラップ、ふた、飾りは取り除く

・発泡トレーのまま解凍できます。
・ラップなどに包んであった食品は、平皿にキッチンペーパーなどを敷いた上に食品を置いて解凍してください。

●冷凍した食品を常温で放置しない

・冷凍庫から出したばかりの凍った食品を解凍してください。
・溶けかけているときは、レンジ200Wで様子を見ながら解凍します。

●アルミホイルを活用する

形や厚みが均一でない食品は、薄いところや細いところの外周をアルミホイルで包むことで、解凍ムラを防ぐことができます。

※アルミホイルが庫内側面やドアに当たらないようにしてください。

※解凍以外には、アルミホイルを使わないでください。

●加熱調理後に解凍するとき

加熱調理後に、解凍するときはドアを開けて庫内を十分冷ましてから解凍してください。

葉菜・果花菜をゆでるとき

洗った後の水滴がついたままラップに包み、ラップの重なり合った部分を下にして皿にのせ、庫内中央に置いてください。

●葉菜類

・葉と茎を交互に重ねます。
・太い茎には、十文字に切り込みを入れます。
・アクのある野菜(ほうれん草、春菊、小松菜など)は加熱後、すぐに流水にさらして、アクを抜き、その後冷水に取って、色止めします。
・量が多いとき(200g以上)は、同量ずつ半分に分けてください。

●果花菜類

・大きさを、そろえて切ります。
・アクのある野菜(なす、ブロッコリーなど)は、加熱前に食塩水につけてアクを抜きます。
・色の濃い野菜(なす、ブロッコリー、さやいんげん、グリーンアスパラなど)は、加熱後すぐに流水にさらし、その後冷水に取って色止めをします。

根菜をゆでるとき

水が付いたまま平皿に入れ、ラップを食品に密着する様に平皿ごとかけます。食品を密封させない様にラップのふちを若干あけて、平皿を必ず庫内中央に置いてください。

●丸のままゆでるとき

・2個以上のときは、できるだけ大きさをそろえて重ならないように並べてください。
・じゃがいもやさつまいも、さといもなどは、加熱後、庫内から取り出して、ラップをしたまま5分程度蒸らし、熱いうちに皮をむきます。

●切ってゆでるとき

皮をむき、大きさをそろえて切ってください。

ラップのご使用について

【ラップをするもの】

- 煮物、蒸し物、汁物、調理済み食品全般など、しっかりと仕上げたいもの(冷凍食品は、それぞれ記載のある加熱方法に従ってください)。
- 野菜などを下ごしらえしたり、温野菜にするとき。
- ラップは容器のふちにぴったりと、食品部分にはゆとりを持たせてかぶせ、密封させない様にふちの一部を若干あけてください。
- カレーやシチューなどにラップが直接触れないようにかぶせてください(油が多いため、ラップが溶けるおそれがあります)。

【ラップをしないもの】

揚げ物、焼き物、炒め物など、水分を飛ばしぎみにしたいとき。

注意:加熱しすぎると発煙・発火します

【あんまん・まんじゅう】

「あん」は高温になると発煙します。

【根菜類(ごぼう、れんこんなど)】

水分が少なくなり発煙・発火することがあります。

【いかなどはじけやすいもの】

はじけてやけどをすることがあります。

【乾燥したものや水分の少ないもの】

発煙・発火することがあります。

レンジ加熱の目安

- 記載の加熱時間は、600W設定での目安として参考に使ってください。
 - 食品の種類や加熱前の温度などで仕上がりが異なりますので、加熱時間を短めにセットして、様子を見ながら加熱してください。
 - 加熱する分量が倍になれば加熱時間も倍になり、ほぼ量に比例します。
 - 市販の冷凍食品の加熱は、袋などに記載されている加熱時間を参考にしてください。
- ※角皿は使用しないでください。

【あたため】食品は、庫内中央に置きます。

 の食品は、ラップをします。

	食品名	分量	加熱時間	ポイント
室温もの、冷蔵もの	ごはん	1杯 (150g)	約1分15秒	固いときは霧吹きなどで水をかける。
	チャーハン	1皿 (250g)	約2分20秒	
	バターロール	1個 (40g)	約10秒	食べる直前に加熱する。
	みそ汁	150mL	約1分45秒	
	焼き魚	1切 (80g)	約50秒	
	煮魚	1切 (100g)	約1分	
	ハンバーグ	1個 (100g)	約1分10秒	
	天ぷら	100g	約40秒	キッチンペーパーや天ぷら敷き紙などに重ならないよう並べる。
	とんかつ	1枚 (100g)	約40秒	
	シューマイ	10個 (180g)	約1分45秒	ゆとりを持ってラップに包み、加熱後ラップをしたまま2～3分蒸らす。
	肉まん	1個 (80g)	約50秒	
	野菜炒め	150g	約2分20秒	
	煮物	200g	約2分20秒	
	カレー・シチュー	300g	約3分30秒	加熱後、かき混ぜる。
	牛乳	200mL	約1分10秒	加熱前後にかき混ぜる。
	お酒	1本 (180mL)	約1分	
	お弁当	約400g	約3分	調味料の入った容器などを取り出す。
	どんぶりもの	約300g	約3分	
ゆで野菜	キャベツ	200g	約3分30秒	太い芯はあらかじめさいておく。
	にんじん	200g	約4分40秒	用途に合わせて切り、ひたひたの水を加える。
	じゃがいも	150g	約3分	途中で1度上下を返す。
	なす	100g	約2分20秒	塩水であく抜きをしておく。
	ブロッコリー	100g	約2分20秒	小房に分け、塩水であく抜きをしておく。

ムラなく加熱するには

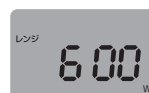
- 食品を庫内に直接置かず、平皿などにのせて加熱します。
- 厚みや高さのある食品は、途中でひっくり返します。

手動調理 - レンジを使う-

1 ドアを開けて食品を庫内中央に置く

2 ドアを閉めて「レンジ」ボタンを押す

押すたびに、1000W→600W→500W→400W→200W→100Wと切り換わります。



600Wの場合

3 ダイヤルを回して加熱時間を設定する

時間を設定した後で出力を変えたい場合は、「取消」ボタンを押して手順2からやり直してください。

■設定できる時間

1000W → 3分まで
600W・500W・400W → 30分まで
200W・100W → 90分まで

※定格高周波出力1000Wは短時間高周波出力機能(約3分間)であり、3分後に約600Wに自動的に切り換わります。

4 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき、残り時間が表示されます。

5 加熱終了

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。

終了後、機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

飲み物(お茶、コーヒー、牛乳、酒など)やシチューなど油脂の多い食品、液体は加熱後、取り出した後に、突然沸騰して飛び散って、やけどのおそれがあります。
加熱するときには、設定時間を控えてください。

調理開始後15秒以内に「時短お急ぎ」ボタンを押すことで調理時間を短縮することができます。(P9参照)

手動調理 - グリルを使う-

1 角皿に食品を入れて庫内にセットする

※グリルは上ヒーターで加熱しますので上段がおすすめです。

2 ドアを閉めて「グリル」ボタンを押す



3 ダイヤルを回して加熱時間を設定する

■設定できる時間

30分まで



(例) 30分設定時

4 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。このとき、残り時間が表示されます。

両面に焼き色をつけたい時は途中で裏返します。

5 加熱終了

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。

終了後、機器の冷却のためファンが回りますので、電源プラグを抜かないでください。

- ・続けて調理する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてから調理を行ってください。
- ・加熱後は、庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないよう十分注意してください。

手動調理 - オーブを使う(予熱あり)-

1 「オープン」ボタンを押す

このとき、角皿と食品は庫内に入れません。



2 仕上がり温度設定ボタンを押して加熱温度を設定する

■設定できる温度

100℃～250℃まで
(10℃単位)



(例)200℃設定時

※設定温度220～250℃の運転時間は約5分です。
その後は自動的に約210℃に切り換わります。

3 「スタート」ボタンを押して予熱する

この時、「オープン」ボタンを押すと設定温度が確認できます。

※ブザーで予熱完了をお知らせします。

※約5分間予熱を保持します。5分後、
ブザーが鳴り予熱がキャンセルされます。(予熱点滅)



4 角皿に食品を置いて、角皿を庫内に入れてドアを閉める

※庫内の熱が逃げないように、ドアはすばやく閉めてください。

5 ダイヤルを回して加熱時間(調理時間)を設定する

■設定できる時間

90分まで



(例)35分設定時

6 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき、残り時間が表示されます。

7 加熱終了

ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
終了後、機器の冷却のためファンが回りますので、
電源プラグを抜かないでください。

- ・続けて調理する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてから調理を行ってください。
- ・加熱後は、庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないよう十分注意してください。

手動調理 - オーブを使う(予熱なし・発酵)-

1 角皿に食品を置いて、角皿を庫内に入れる

2 「オープン」ボタンを押す

オープン(予熱なし): 2回押す
発酵: 3回押す



(例) オープン(予熱なし)

3 仕上がり温度設定ボタンを押して加熱温度を設定する

■設定できる温度

- 35℃・40℃(発酵)、または10℃単位で100℃～250℃の範囲で設定ができます。
- 発酵は、予熱ができません。

※設定温度220～250℃の運転時間は約5分です。
その後は自動的に約210℃に切り換わります。



(例) オープン予熱なし加熱 200℃設定時



(例)発酵40℃設定時

4 ダイヤルを回して加熱時間(調理時間)を設定する

■設定できる時間

90分まで



(例) オープン予熱なし加熱
30分設定時

5 「スタート」ボタンを押す

庫内灯が点灯して、加熱が始まります。
このとき、残り時間が表示されます。

6 加熱終了

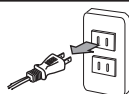
ブザーが鳴って庫内灯が消えます。
終了後、機器の冷却のためファンが回りますので、
電源プラグを抜かないでください。

- ・続けて調理する場合は、ドアを開けて庫内を冷ましてから調理を行ってください。
- ・加熱後は、庫内や角皿が熱くなっています。食品の出し入れの際には、ミトンなどを使用し、やけどをしないよう十分注意してください。

お手入れ

⚠ 警告

お手入れは、電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷めたことを確認してから行ってください。



⚠ 注意

お手入れには、シンナー・クレンザー・金属たわしなどを使わないでください。変色・変質・劣化などの原因になります。



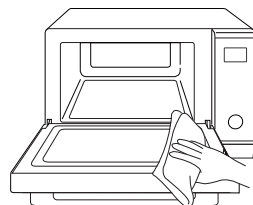
【本体・ドア】

- 本体外側やドアは、台所用中性洗剤を含ませたふきなどで汚れをふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。
- 吸気口についたホコリなどは、掃除機や乾いた布などで定期的に取り除いてください。



【庫内・ドアの内側】（使用ごとにお手入れをしてください。）

- 調理中にこぼれた汁や飛び散った油・食品カスなどは、早めにふき取ってください。汚れたまま使用すると、焦げ付いて取れにくくなったり、発煙・発火する原因になります。
- 汚れは、台所用中性洗剤を含ませたふきなどでふき取った後、固くしぼったふきんで洗剤分をふき取ってください。



【角皿】（使用ごとにお手入れをしてください。）

- 角皿は、スポンジなどで洗い、水分をふき取り、よく乾かしてください。



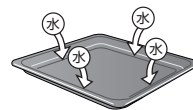
【電源プラグ】

電源プラグの刃、刃の取付面やコンセントにホコリが付いているときは、乾いた布でふき取ってください。



【クリーニング】 スチーム加熱を使用して、汚れを落としやすくします。

- ①角皿の四隅に水を注ぎ、角皿を庫内に入れます。
 - ②ドアを閉めて「メニューオート」ボタンを押して、ダイヤルを回してメニュー番号21に合わせてください。
 - ③「スタート」ボタンを押してクリーニングをスタートします。
 - ④ブザーが鳴り終了します。ドアを開けて、庫内を冷ましてから水滴をふき取ってください。
- ※途中でクリーニングを停止させたいときは「取消」ボタンを押してください。



故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に、次の点をお調べください。

こんなとき	ご確認ください
動かない	●電源プラグが抜けていませんか。 →しっかりと電源プラグを差し込んでください。 ●配電盤のブレーカーが切れていませんか。 →お使いの電気製品を確認して容量内でお使いください。 ●停電していませんか。 ●調理中にドアを開閉しませんでしたか。 →「スタート」ボタンを押すか、または再度設定してください。
何も表示していない	●ドアを閉めてしばらくすると自動的に電源が切れます。(オートオフ機能) →ドアを開閉して、「0」表示が出たら操作してください。
操作ボタンを押しても反応しない	●表示部が「0」を表示していますか。 →ドアを開閉して、「0」表示が出たら操作してください。(P7参照) ●チャイルドロックが設定されていませんか。 →表示部に「」が表示されている場合は解除してください。(P7参照) ●消音モードになっていませんか。 →消音モードではボタンを押しても音がしません。(P7参照)
スタートボタンを押しても加熱しない	●ドアが完全に閉まっていますか。 →ドアを確実に閉めてください。 ●メニューは選びましたか。 ●出力・時間などの設定は行いましたか。
時短お急ぎボタンを押しても反応しない	●加熱を繰り返していませんか。 →オートオフが働くまでそのまま製品を冷ましてから再度設定してください。 ●手動レンジ600W・500W、自動メニュー[1]、[4]～[9]以外では時短お急ぎは動作しません。
すぐに加熱が止まる	●庫内が熱くなっていませんか。 →庫内が熱いときは、温度センサーが働き加熱を停止することがあります。 ドアを開けて庫内を冷ましてから加熱してください。
火花が出る(レンジ調理)	●金属容器やアルミホイル、金粉や銀粉などの飾りのある容器などを使っていませんか。 →使用できる容器に変えてください。(P5参照) ●庫内が空だったり、食品の量が少なすぎる状態で加熱していませんか。 →適量の食品を入れてください。 ●庫内に汚れが付着していませんか。 →汚れをふき取ってください。(P23参照)
煙が出たり、いやなにおいがする	●ご購入後から焼きをしましたか。(P8参照) ●庫内やドアに、調理物のカスや油などが付着していませんか。 →ふき取ってください。(P23参照)
加熱中にヒーターがついたり消えたりする	●メニューによってヒーターの制御をしています。故障ではありません。
加熱中に音がする	●加熱中にブーン、ゴトゴト、カチカチ、ポコンといった音がする場合があります。 →ファンやアンテナの動作音、スイッチ音、壁面の膨張・収縮音などであり、故障ではありません。
加熱後に音がする	●部品を冷却するファンの音です。故障ではありません。
ドアがくもり水滴が落ちる	●食品の水分が水蒸気となったものです。ふき取ってください。
残り時間を表示しない	●赤外線センサー調理の場合センサーが温度を検知するまで「」(回転)表示となります。温度検知後残り時間を表示します。
高温注意が表示される	●庫内温度が高い時に自動調理を実行すると表示されます。故障ではありません。 庫内が冷めてから調理を行ってください。

故障かな?と思ったら

こんな表示が出たら

E01 ~ E05

E11 E16 E18

E15

ご確認ください

●取消ボタンを押すと消えます(消えない番号もあります)。
繰り返し表示されるときは、故障している可能性がありますので、ご使用を中止して
電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口
にご相談ください。

●ドアを一度開けて、確実に閉めなおしてみてください。

※それぞれの確認や処置をしても異常がなおらなかったり、原因がわからないときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

仕様

定格電圧	AC100V
定格周波数	50Hz/60Hz共用
外形寸法	幅513mm×奥行403mm×高さ332mm
質量	約13.1kg
庫内有効寸法	幅315mm×奥行355mm×高さ206mm
コード長	約1.5m
定格消費電力	1450W
定格高周波出力	1000W
発振周波数	2450MHz
電熱装置の定格消費電力	1360W
区分名	D
電子レンジ機能の年間消費電力量	56.5 kWh /年
オープン機能の年間消費電力量	12.4 kWh /年
年間待機時消費電力量	0.0 kWh /年
年間消費電力量	68.9 kWh /年

- 年間消費電力は、省エネ法・特定機器「電子レンジ」新測定法による数値です。
- 区分名は、省エネ法に基づき、機能、加熱方法、庫内容量の違いで分けています。
- 実際にご使用の際の年間消費電力は、周囲環境、使用回数、使用時間、食品の量などによって変わります。目安としてご覧ください。
- 長期間、ご使用になられないときは電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定格高周波出力1000Wは短時間高周波出力機能(約3分間)であり、3分後に約600Wに自動的に切り換わります。

アフターサービスについて

製品の保証について

●この説明書には、製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、内容をよくお読みいただき大切に保管してください。

●保証期間は、お買い上げ日より1年間です。(マグネトロンのみ2年間です。)

保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。

●保証期間後の修理

お買い上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認いただき、それでも異常のあるときは、ただちに使用を中止し、お買い上げ販売店に修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は、絶対にしないでください。感電やけがのおそれがあります。

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■使いかたやお手入れなどのご相談は下記へ

本製品についてのお取り扱い・お手入れ方法などのご相談、ご転居されたりご贈答品などで、販売店に修理のご相談ができない場合は、右記までご相談ください。

お客様ご相談窓口

ナビダイヤル

 0570-019-700

※PHS、IP電話など一部の電話からのご利用はできません。
受付時間 10:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

●Eメールでのご相談も受け付けております。
その際は製品名・品番・ご相談内容・お名前・お電話番号をご記入の上、ご相談ください。

Eメールでのご相談は

info_a@yamazen.co.jp

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。

※お問い合わせの際には、保証書に記載の製品名・品番をご連絡ください。